

## 令和4年人口動態統計の概要

### 出生

出生数は7,026人で、前年の7,310人より284人減少した。また出生率(人口千対)は6.4で前年より0.3減少した。区毎の出生数は、青葉区1,675人(△105人)、宮城野区1,452人(△47人)、若林区1,022人(△10人)、太白区1,708人(△96人)、泉区1,169人(△26人)となった。(括弧内は対前年増減数)

合計特殊出生率は1.10であり、前年の1.13を0.03下回った。

### 死亡

死亡数は10,830人で、前年の9,753人を1,077人上回った。また死亡率(人口千対)は9.9で前年より1.0増加した。区毎の死亡数は、青葉区3,065人(+287人)、宮城野区1,707人(+71人)、若林区1,321人(+97人)、太白区2,567人(+337人)、泉区2,170人(+285人)となった。(括弧内は対前年増減数)

死因別にみると、悪性新生物<腫瘍>の死亡数は2,938人(死亡総数に占める割合は27.1%)と前年と同様死因順位第1位となった。第2位が心疾患(高血圧性を除く)、第3位が老衰となり、前年と同じであった。また、乳児死亡は12人で、前年より3人増加し、新生児死亡は4人で、前年を1人下回った。

出生と死亡の差である自然増減数は△3,804人で、前年の△2,443人より1,361人減少し、自然増減率(人口千対)は△3.5で前年より1.3減少した。

### 死産

死産数は138胎で、前年の152胎より14胎減少し、死産率(出産千対)は19.3で、前年の20.4を1.1下回った。

### 婚姻

婚姻件数は4,834件で前年の4,899件より65件減少した。

### 離婚

離婚件数は1,477件で前年の1,505件より28件減少した。

### 時間でみた人口動態(仙台市)

		件 数	発 生 間 隔	1日当たりの件数
出 生		7,026	74.8 分に 1 人	19.25
死 亡		10,830	48.5 分に 1 人	29.67
乳 児 死 亡		12	30.4 日に 1 人	0.03
新 生 児 死 亡		4	91.3 日に 1 人	0.01
死 産		138	63.5 時間 に 1 胎	0.38
婚 姻		4,834	1.8 時間 に 1 組	13.24
離 婚		1,477	5.9 時間 に 1 組	4.05
主要死因	悪性新生物(腫瘍)	2,938	2.98 時間 に 1 人	8.05
	心疾患(高血圧性を除く)	1,433	6.11 時間 に 1 人	3.93
	老 衰	1,359	6.45 時間 に 1 人	3.72
	脳血管疾患	877	9.99 時間 に 1 人	2.40
	肺 炎	328	26.71 時間 に 1 人	0.90

### 出生数及び合計特殊出生率の年次推移

	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年
出生数	8,407	7,786	7,843	7,310	7,026
合計特殊出生率	1.25	1.18	1.20	1.13	1.10

※合計特殊出生率は、2 頁【合計特殊出生率に関する留意点】に示すとおり、本市と厚生労働省とで計算方法が異なるため、本表に掲げる値と厚生労働省の公表数値に相違が発生する場合があります。

### 主要死因別にみた死亡率(人口 10 万対)の年次推移

